



日本共産党・前県会議

2021年6月30日

加藤なを子



県政へのかけ橋 活動レポート

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先> 藤沢市藤沢2-3-2

TEL 0466-25-4776 FAX 25-4761



県民・市民の声で

聖火リレー、ライブサイトは中止に

6月11日の午後、知事の記者会見で、県内の聖火リレーは、公道は走らずランナーによる点火式、そしてライブサイト（パブリックビューイング）は中止とすることが発表されました。

藤沢では東京五輪期間（7/25～8/5と8/24～9/5のうち2日間）中に藤沢市役所本庁舎と市役所前広場での、大型スクリーンによるライブサイトが中止となりました。6千人近くの参加を見込んでいて、コロナ感染拡大につながる人の流れがとても心配でした。神台公園内を聖火ランナーが数十メートル走るイベントも中止されました。多くの皆さんが声をあげたことが大きな力になりました。セーリングを観戦する「学校連携観戦チケット」はまだそのままです。子どもたちの安全やいのちを守るために辞退すべきです。



県議団、オリパラ開催中止の要請

6月7日県議会共産党県議団は、委員会や本会議ではオリパラ中止を求めてきました。国民の多くが反対する今、学校からの児童生徒の観戦や聖火リレー、および関連行事への動員見直しを、県として判断できることは即刻行い、かつ現場を知る立場から国にきっぱり中止を



申し入れるよう求めました。

なを子の花だより

今週はアガパンサス

県議会に行く途中、日本大踊りで、アガパンサスの紫と白の花が咲いているところを撮りました。細めの光沢のある緑の葉と花火のように放射状に広がる花が初夏の陽ざしに涼しげで、心が洗われる気がします。和名は「紫君子欄」ヒガンバナ科やユリ科との説もあります。たしかに花はユリ、咲き方はヒガンバナに似ています。



村岡新駅について

～地域で対話～

新駅が必要とは

言いきれない



地域の声は

今日は午前中、村岡東地域を訪問し、意見を伺いました。大船の駅に自転車で行き、JR を利用して通勤しているという子育て中の男性の方や、20 年前に家を購入した方、ずっと住み続けている女性の方など「新駅について必要かと聞かればそうとも言いきれない」、「根岸線の延伸なら、新駅は賛成」、「この地域の交通網より、御所見のバスが 1 時間に一本しかない市全体の公共交通網の整備をすすめてほしい」、「新駅は必要ない、武田と約束したからなのでは」、でも「住民の要望に沿った使い方に」という意見もありました。「行政手続きができる場所が近くにほしい」という要望に、「跨線橋の近くに村岡公民館が移転します」、と伝えました。引き続き地域の皆さんの声を市や県に届けます。

村岡新駅周辺地区整備事業および都市計画に関する説明会は 6 月 24 日と 26 日 19:00 F プレイスで行ないました。

なを子の大好きな場所 石川丸山谷戸

藤沢市の三大谷戸のひとつ「石川丸山谷戸」です。私の家から善行団地に行く途中にあり、大好きな場所です。

ボランティアの皆さんによる田植えが終わったところでした。小さな苗がこれから育ち秋の収穫が楽しみです。地域の皆さんのご協力や谷戸を守るために活動を続けている方々の力はとても貴重です。市も県も、活動や谷戸の環境を維持するための支援や十分な予算をとり、取り組むよう求めています。



G I G A スクール構想・一人一台の端末を配備する裏側に



「いのち環境ネットワークと子どもとメディアを考える会」の方々の企画で「GIGA スクールのどこに問題があるか? Society5.0 型教育改革の危険なねらい」児美川孝一郎さん（法政大学）学習会が行なわれました。幅広い年齢層の皆さんが参加され、質問や意見もさまざま出されました。

←（文科省HPより）

今、一人一台の端末を配備し、日本中の学校を、高速大容量の通信ネットワークで結んで、校内 LAN を整備しています。子どもたちへの心や体への影響はなんの検証もされていないまま、経産省の主導で進められている GIGA スクール構想。ICT（情報通信技術）教育のねらい、その背後にある Society5.0 という未来社会の教室は、学校の存在意義を薄め、公教育の解体となるものでした。子どもたちの最善の利益、学びや発達の保障、健康を守るために、教員や学校現場と力をあわせることが必要だと感じました。

ICT 活用で社会全体が「教室」

学校制度の枠は薄められる

公教育も民間企業もフラット関係

公教育の解体・教育市場の拡大